

<大阪畳商工業協同組合>

「福祉たたみ」開発事業

－高齢社会。福祉畳で生活の質の向上を目指す－

〈組合概要〉

- 所在地 大阪市西区西本町 1-9-13
- 電話 06-6534-1545
- 設立 昭和 35 年 7 月 23 日
- 業種 畳業
- 組合員数 114（平成 30 年 3 月 31 日現在）
- URL <http://www.osakatatamikumiai.com>

取組期間

平成 26 年 6 月 12 日～平成 27 年 3 月 31 日

取組みの背景・きっかけ

高齢社会における高齢者や身体障害者の生活クオリティの向上を目指すと同時に、日本の生活様式の洋風化による畳離れの減少を打破するために取り組んだ。

畳の掘り起こしとしての「日本の和」の PR の意味合いも含んでいる。

取組みの内容

弾力、保温、抗菌を考慮したあらゆる人が使いやすい畳として高齢社会に向

けた畳商品の企画開発事業である。

事業の先進性・新規性については、「畳」として使われてきた保温、弾力、調湿などの有能な特性をそのままに高齢者のつまずき転倒防止や手入れの簡易性向上を取り入れた新しい形の畳の開発であり、これにより若者から高齢者、身体障害者にいたる万人が使用しやすいユニバーサル畳としての用途を見出すことを可能としている。

取組みの形としては、当組合内企画促進委員会メンバーが中心となり開発を行った。

実施成果（平成 30 年 3 月 31 日現在）

今回の事業としては企画開発での試作商品完成までのものであり、27 年度、製品として供給できるような形に変えていく予定であるため、成果としては完成以外にないが、今後モニタリングなどの結果から PR 策を見出し展開していくことで需要につなげ、和室の掘り起こし及び高齢者や身体障害者の生活クオリティの向上が見込まれる。

また、万能畳ということから、和室だけでなく洋室にも置き畳としての使用が可能であり、それによって、組合員企

業にも「福祉畳」としてより販売しやすいという利点がある。

このようなユニバーサルの要素の商品開発は我々の業界だけでなく他の製作業であってもものづくり力の強味を発揮できるので活性化の糧として他業界でも活用いただけるのではないかと思います。

【27年度】

まずはPRを中心に開発した福祉畳を市場へ広げるための模索をした。

資金不足のため独自でチラシを作成しポスティングするところから始めて、一般家庭へのPRを主に行った。

福祉畳という部分では需要に乏しく、思った以上の反響を得られなかったことから、次年度はユニバーサルデザインの優れた部分を介護業界や市町村に向けて販促活動に力をいれてPRを行っていく予定。

【28年度】

大阪豊商工業協同組合が開発した「福祉畳」を幅広く知っていただくためのPR活動として、大阪府下の福祉施設へダイレクトメールを送ったところ、数件のお問い合わせを頂き、施設担当者と打ち合わせを重ね、需要に合ったオリジナルの福祉畳を施工することとなった。

様式や需要はその施設ごとに異なっているため、その施設独自の福祉畳として使用材料の量や種類、施工方法の選定を十分に行って作製することになった。

施行引き渡しは平成29年度初めの予定。

このように、非常に用途幅の広い「福祉畳」は今後も施設ごとのニーズにお応えしながら生活クオリティの向上を目指して行きます。

【29年度】

事業費不足により、思うようなPR活動ができず、地道な活動として、各地域ポスティングなどでPRを行った。

配布できる数量が限られていることと、仕事の合間をぬってのポスティング活動となったため、思うような成果が上がりなかった。

福祉面での商品価値が高いところからもっと幅広いスケールで公的機関への働きかけを行うとともに、新たなPRの方法を考察し、ユニバーサル効果をもつこの「福祉畳」を多くの方にご活用いただけるよう尽力していく意を固めた。

30年以降も引き続き、高齢社会へ貢献できる商品としてPR活動を続ける予定である。